コンビ
i スルー EG QS-599 QS-529
i スルー QS-429

取扱説明書

Combi

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書は大切に保管してください。
取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

イラストは
i スルー QS-429

安全基準 A 型
（1ヵ月～24ヵ月まで）

目次

●ご使用の前に……1
●安全にお使いいただくために
⚠警告……1～2
⚠注意……3
●各部のなまえ……4
●本体の開きかた……5
●座席の向きの変えかた……6
●買い物カゴの使いかた……6
●リクライニングの使いかた……7
●キャスターの使いかた……7
●ストッパーの使いかた……7
●フロントガードの使いかた……8
●足のせの使いかた……8
●足カバーの使いかた……9
●フラップの使いかた……9
●シート、衝撃吸収マットおよびエッグショックパッドの取り扱いかた……9
●シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の使いかた……10
●幌の使いかた……11
●エアスルーシステム（通気窓付き幌）の使いかた……11
●サイドポケットの使いかた……11
●本体の折りたたみかた……12
●保管のしかた……12
●日常のお手入れ……13
●点検とアフターサービスについて……13
●廃棄方法について……13
●品質保証書……14
●ＳＧマークの被害者救済制度……14
●オプション品（別売り）……15

ご使用の前に

●この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための１人乗り乳母車（ベビーカー）です。
●対象年齢：生後１ヵ月※以上24ヵ月以内（お子さまの発育により個人差があります）
※生後１ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、１ヵ月経過した乳児を示します。
●望ましい連続使用時間：２時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は１時間以内）
●組み立てる前に、14ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
❶ロットNo.（背もたれ後側に貼ってあるシールに記載されています。）
❷お客様のお名前・ご住所・電話番号
❸販売店名

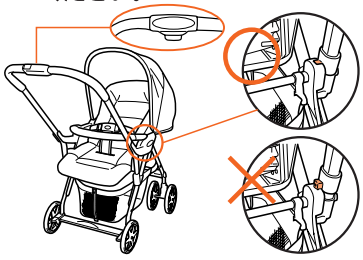
安全にお使いいただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。
製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被るおそれがあります。
よくお読みの上、製品をご使用ください。
●注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警　告　取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

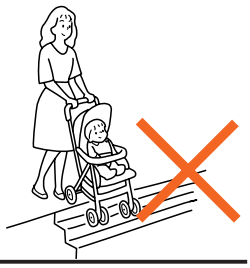
●開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



●ロックがかかっている
開閉ロックが下がって間に空きがない

●ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって間に空きがある

●階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

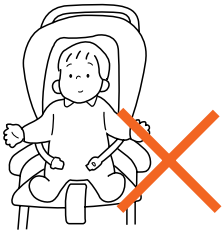


●乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。

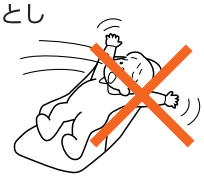
●破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

乳幼児が落ちるおそれがあります。

●股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。
乳幼児は思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。
目を離さず十分注意してご使用ください。



●車体から取り外した座席は、座席単体で乳幼児用の椅子やキャリーとして使用しないでください。
破損や、乳幼児が思わぬけがをするおそれがあります。



●乳幼児を乗せたまま、座席の着脱はしないでください。転倒や落下のおそれがあります。

●乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止の行為であることを告げるものです。

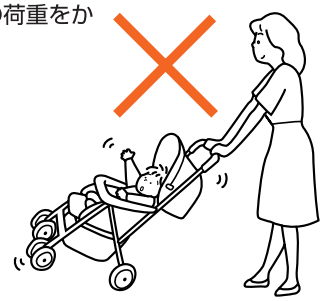
事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

●乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。

●ベビーカーに同時に２人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。

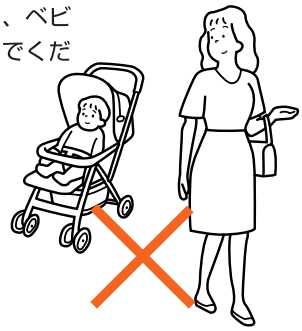
●ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。



ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。

●乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



●ベビーカーは空車であっても坂の途中 / 車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

安全にお使いいただくために

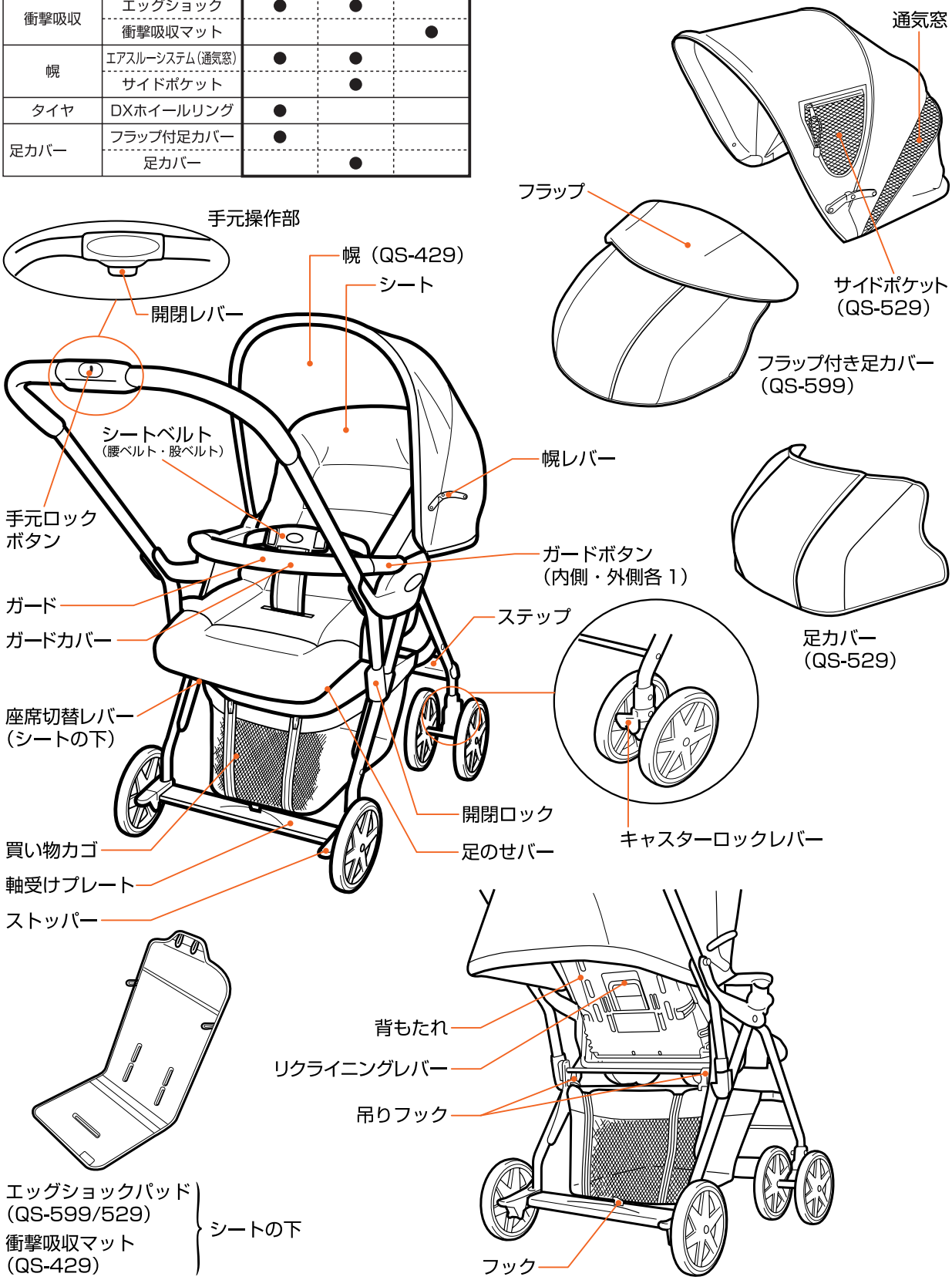
⚠ 注　意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

●**シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。**
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
●**お子さまにベビーカーを操作させないでください。**転倒や思わぬ事故につながります。
●**ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。**
指をはさんだりするおそれがあります。
●**乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。**
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
●**フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。**破損のおそれがあります。
●**フロントガードには過度の力を加えないでください。**また必要以上に広げたりしないでください。
●**乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。**
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
●**乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。**乳幼児が抜けだしたり、落下するおそれがあります。
●**ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。**破損、故障の原因となります。
●**ベビーカーを押すときは走らないでください。**
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
●**ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。**
破損の原因となります。
●**買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。**破損の原因となります。
●**踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。**
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまるおそれがあります。
●**雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。**
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
●**風の強いときには使用しないでください。**勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
●**雷のときは使用しないでください。**落雷のおそれがあります。
●**夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。**
●**火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。**故障や変形の原因となります。
●**ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。**
故障や変形の原因となります。
●**危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。**
●**ご使用の前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。**ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
●**ベビーカーの使用中、乳幼児が手を出したりすることがあります。**ベビーカーから手を出したまま使用しますと、手や指をはさんだり、何かに触れたり思わぬ怪我の原因になります。
●**長時間使用の禁止**
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では２時間以内、座らせた姿勢では１時間以内で休憩をとるなどしてください。
●**バスの中では使用しないでください。**
本製品はバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。
本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
●**電車の中での使用について**
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。
お客さまの責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
●**カーブを曲がるときは、体全体を使い大きくゆっくりと操作することをおすすめします。**
手首を使い急激に曲がる操作をくり返すと、手首を痛めることがあります。

（開封されましたら、部品がそろっているかご確認ください。）

各部のなまえ

アイテム	グレード	QS-599	QS-529	QS-429
衝撃吸収	エッグショック	●	●	
	衝撃吸収マット			●
幌	エアスルーシステム（通気窓）	●	●	
	サイドポケット		●	
タイヤ	DXホイールリング	●		
足カバー	フラップ付足カバー	●		
	足カバー		●	



本体の開きかた

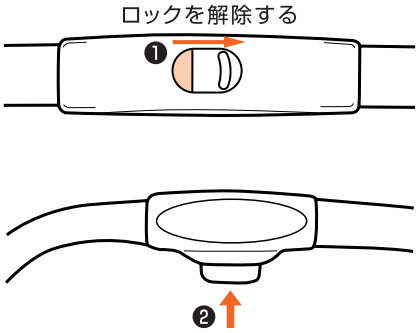
警告

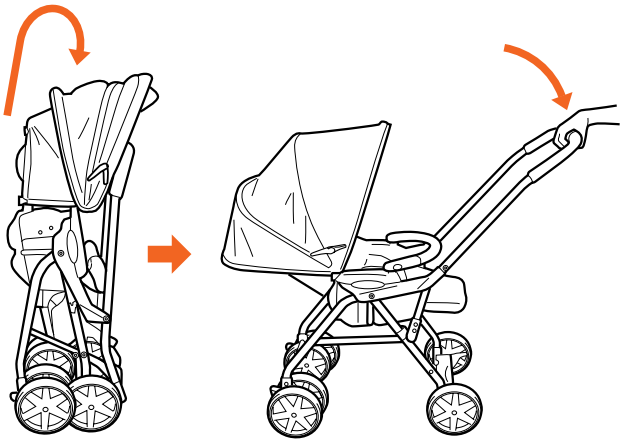
●開閉ロックを解除したまま使用しないでください。無意識にレバーを握ったときなど、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまうおそれがあります。

注意

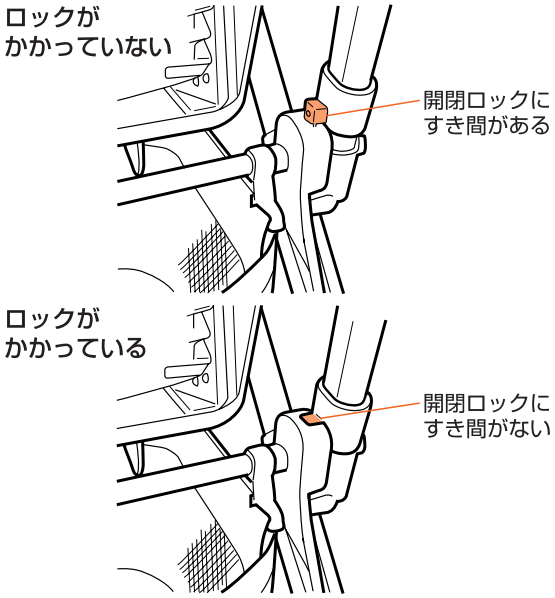
●ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。
●開くときには他人に触らせないでください。手をはさむおそれがあります。
●お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

❶ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。
❷開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにすると開きます。
操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。
ロックがかかったままではレバーは握れません。
レバーを間違えて握ったときは、いったんレバーから手を離し、もう一度❶からはじめてください。





開き終わって開閉レバーから手を離した後、次の点を確認してください。
●手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
●左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。



座席の向きの変えかた

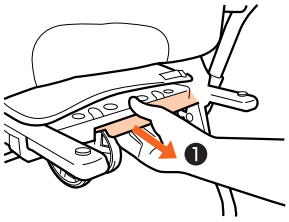
座席の向きを変えて、ママの顔が見える対面と景色がよく見える背面に切り替えられます。

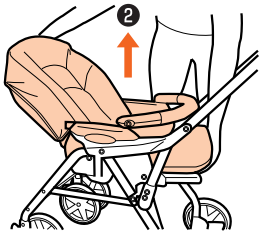
警告

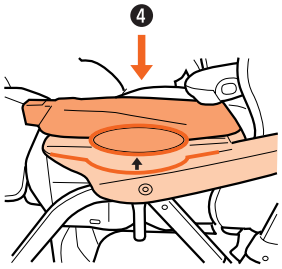
- ●乳幼児を乗せたまま、座席の着脱はしないでください。転倒や落下のおそれがあります。
- ●車体から取りはずした座席は、座席単体で乳幼児用の椅子やキャリーとして使用しないでください。破損や、乳幼児が思わぬけがをするおそれがあります。

❶座席前端下の座席切替レバーを引きます。
❷座席切替レバーを引いたまま、座席を持ち上げます。
※乳幼児を乗せたまま、座席を持ち上げないでください。
※もう片方の手は、背側を持って支えてください。
❸座席の向きを変えます。
❹車体側左右のアームレスト矢印に座面左右のプレートの中心を合わせます。
❺座席左右のアームレストを真上から強く押して車体に取り付けます。
❻座席と車体が確実に取り付けられたか、座席を持ち上げるなどして確認します。

注意：座席の向きを変えるときアームレストに指をかけて取り付けますと指をはさむおそれがあります。
取り付けのときは十分ご注意ください。







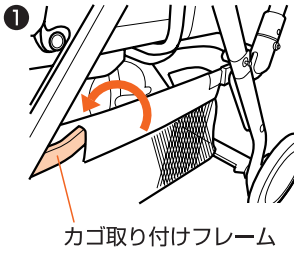
買い物カゴの使いかた

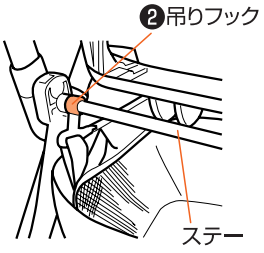
注意

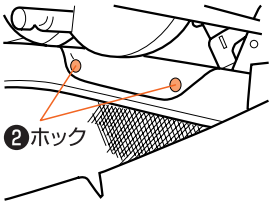
- ● 5kg 以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- ●角のとがったものはのせないでください。カゴ底面部の破れの原因となります。

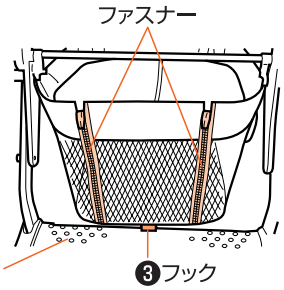
取り付けかた

❶座面下のカゴ取り付けフレームにカゴ上端を巻き付けます。
❷ホック(左右計４ヵ所)を合わせます。
吊りフックを車体側のステーにかけます。
❸フックを車体の軸受けプレートに差し込みます。
荷物の出し入れには、カゴ後部のファスナーを開けると便利です。









取りはずしかた

取り付けかたの逆の手順です。

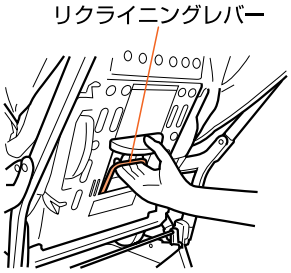
荷物について

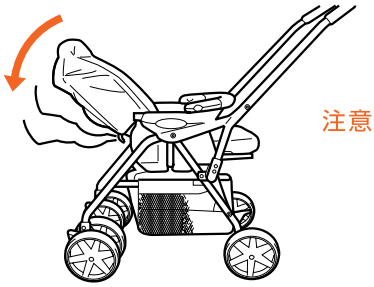
できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出すか、買い物カゴごと取りはずしてください。

リクライニングの使いかた

注意
●危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

リクライニングレバーを引きながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は３段階です。





注意：背面で折たたむときには、背面をイラストの位置まで倒します。

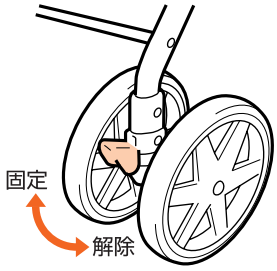
お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。
特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

キャスターの使いかた

平たんな路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。

注意
●キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく故障の原因となります。
必ず正しい位置で固定してください。

キャスターロックレバーを下げ、
ロックを解除します。

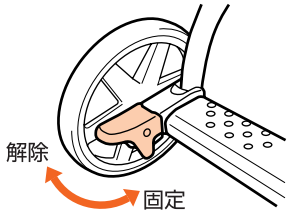


ストッパーの使いかた

警告
●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

注意
●空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。
ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。
●ストッパーは走行中のベビーカーを停止させるためには使用しないでください。
また、ストッパーを固定の状態で走行しないでください。破損の原因になります。

●左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。
ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
●解除するときはストッパーを上げてください。



フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

⚠警告

●フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。
●フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

⚠注意

●フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。
●お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。
●フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまうおそれがあります。

フロントガードの取り付けかた

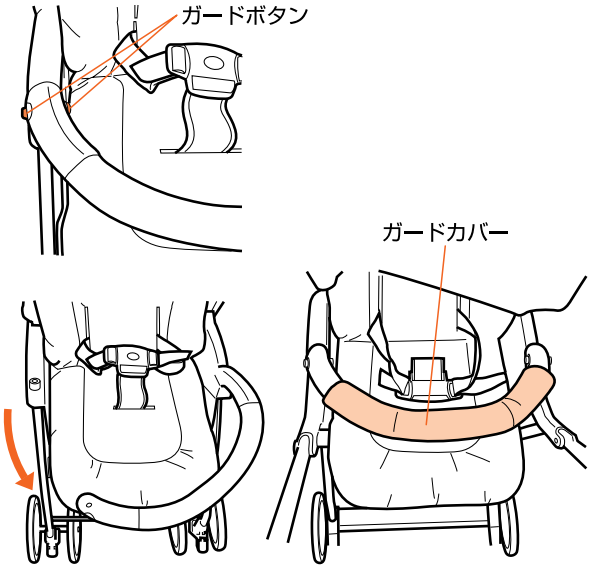
●正面から見て「**Combi**」の文字が正しく見えるようにアームレスト先端の突起に差し込みます。
確実に固定されたか引っぱって確認してください。

フロントガードの取りはずしかた

●フロントガード端の外側と内側２つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。

ガードカバーの取り付けかた

●正面から見て「**Combi**」の文字が正しく見えるようにフロントガードにガードカバーを通します。



足のせの使いかた

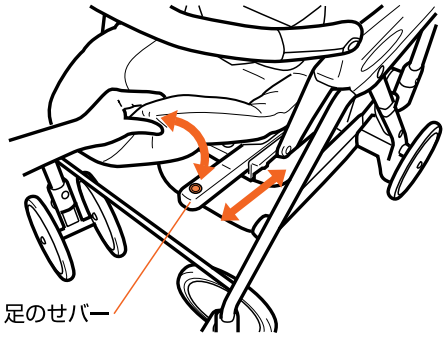
お子さまが寝たとき、足のせを使用すると楽な姿勢で眠れます。

⚠注意

使用するときは、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのけがの原因となります。

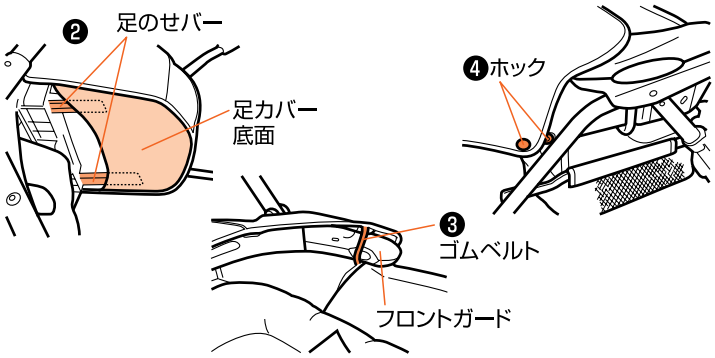
使用するときは、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。

シートをのせ必ずホックをとめます。
使用しないときは、シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。



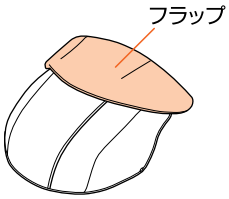
足カバーの使いかた（QS-599/QS-529）

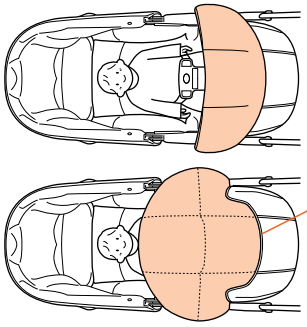
❶足のせバーを引き出し、シートのホックをとめます。
❷足カバーをフロントガードにかぶせます。足カバーの底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットします。
❸フロントガードの両端に、ゴムベルトをかけます。
❹足カバー両側面のホックと座席のホックをとめます。
●乗せおろしのときは足カバーをはずせばフロントガードを開くことができます。



フラップの使いかた（QS-599）

QS-599 の足カバーは、フラップ付きになります。
フラップは、足カバー内側のファスナーにより、着脱ができます。
また、フラップを広げますと、お子さまの上掛けになります。





シート、衝撃吸収マットおよびエッグショックパッドの取り扱いかた

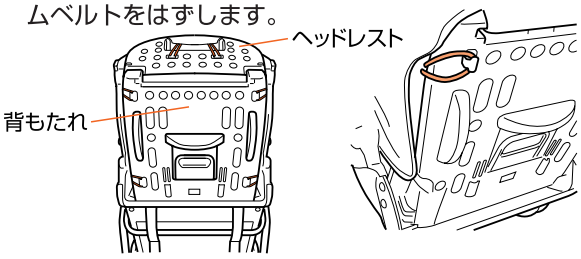
衝撃吸収マットは、走行中の揺れからお子さまを守ります。QS-599/529 は段差などによる衝撃をやわらげ、お子さまの汗や湿気を吸収し、シートを快適な湿度に調節する“エッグショックパッド”が付いています。

⚠注意

●シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
●やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
●シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどのおそれがあります。

シート、衝撃吸収マットおよびエッグショックパッドの取りはずしかた

❶足のせバーを使っているときには、シート前端のホックをはずします。
❷背もたれ後ろ側のフックにかけてある左右6ヵ所のゴムベルトをはずします。
❸シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルやホックが通し穴に引っかかることがありますので、丁寧に扱ってください。
❹衝撃吸収マットまたはエッグショックパッドは、シートベルトを抜き取り、背板とヘッドレスト4ヵ所のゴムベルトをはずします。



シート、衝撃吸収マットおよびエッグショックパッドの取り付けかた

❶背もたれをいちばん寝かせた状態にして、衝撃吸収マットまたはエッグショックパッドを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通し、ゴムベルトを背板とヘッドレストのフックにかけます。
❷シートを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通します。
❸背もたれを起こし、左右6本のゴムベルトを裏側の両側面4ヵ所のフックにかけます。
❹シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。
注意：「衝撃吸収マット」は手洗いしてください。
「エッグショックパッド」は洗濯できません。
エッグショックパッドは、梅雨時期などの湿度が高い時期には日照時干して乾燥させてください。くり返し使用できます。
衝撃吸収マット、エッグショックパッドを使用するときは必ずシートの下に敷き、ゴムベルトをとめてください。

シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の使いかた

警告

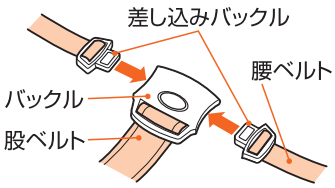
●お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分注意してください。
●シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

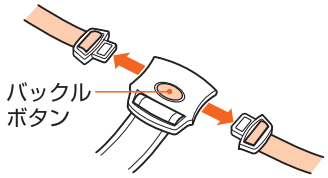
〔シートベルトを締めるとき〕

❶お子さまの股の間から股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。
❷腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。

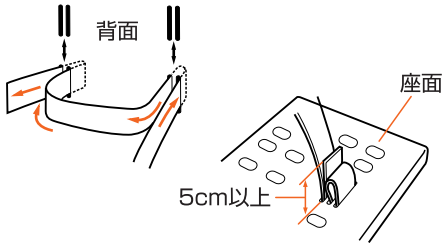


〔シートベルトをはずすとき〕

股ベルトのバックルボタンを押す。



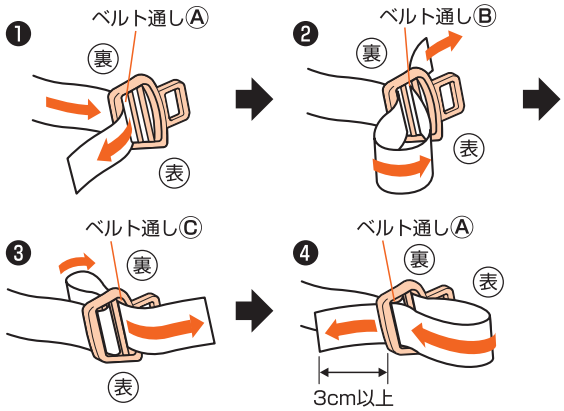
●長さ調節時にバックルをはずしたときは、図にしたがって確実に取り付けてください。
取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
●腰ベルトを締めても抜け出そうとするような活発なお子さまの場合は、別売りの「セーフティベルト」を使用してください。
着脱シート上での抜け出しや立ち上がりを防ぎます。（裏表紙参照）



シートベルトの取り付けと調節のしかた

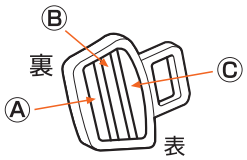
〔腰ベルトの取り付け〕

❶バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通します。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向けて通します。
❷バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷから裏側に通します。
❸バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸから表側に通します。
❹バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通します。（ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります）



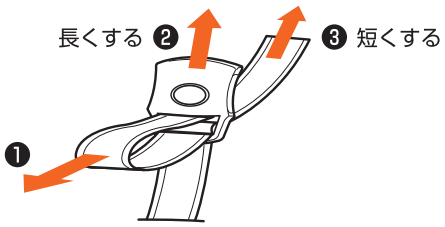
※腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

差し込みバックルのベルト通し（Ⓐ Ⓑ Ⓒ）



〔股ベルトの長さ調節〕

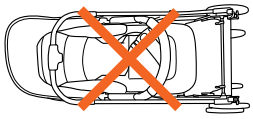
股ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出します。
長くするときには、❷バックルを引っぱり、短くするときには、❸ベルトの端を引っぱります。



幌の使いかた

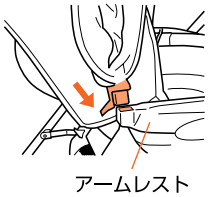
注意

●保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。



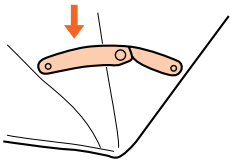
取り付けかた

幌の差し込み部分を、アームレスト後端の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。



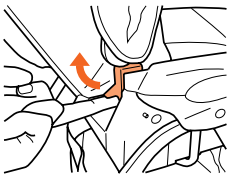
広げかた

前２本のステー（中骨）を持ってひろげ、左右の幌レバーの関節部を押し下げロックします。



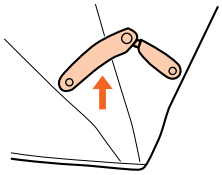
取りはずしかた

後ろのホックをはずし、差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。



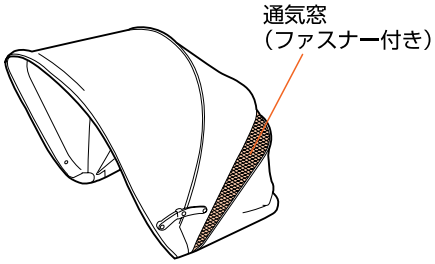
たたみかた

幌レバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。
幌をたたむとき、大きな音がしますが、使用上問題はありません。



エアスルーシステム（通気窓付き幌）の使いかた（QS-599/529）

QS-599/529 の幌は、エアスルーシステムになります。
通気窓は幌後部のファスナーの開閉により、取り出しと収納ができます。

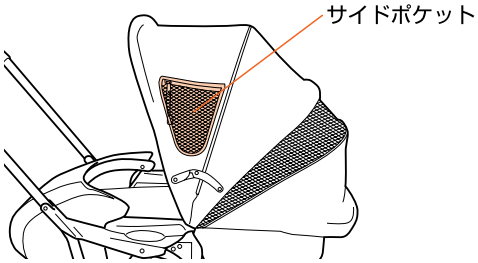


サイドポケットの使いかた（QS-529）

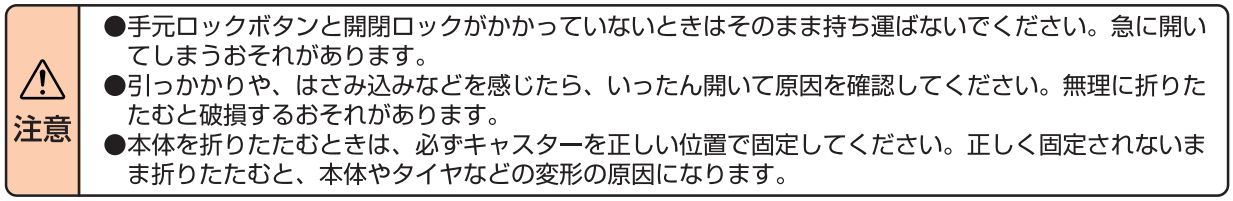
警告

●サイドポケットには 200g を越えるもの、飲料水などの水分を含むもの、ナイフなど角のとがったもの、ライターなど発火のおそれのあるものは入れないでください。

QS-529 には、サイドポケット（片側）が付きます。
ポケットティッシュやミニタオルなど（200g 以下）を入れることができます。



本体の折りたたみかた


注意

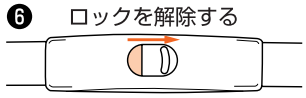
●手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまうおそれがあります。
●引っかかりや、はさみ込みなどを感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
●本体を折りたたむときは、必ずキャスターを正しい位置で固定してください。正しく固定されないまま折りたたむと、本体やタイヤなどの変形の原因になります。

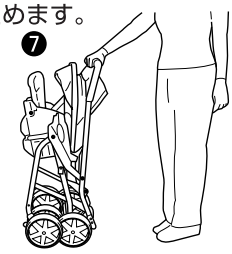
折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

背面状態のとき

❶シートベルトのバックルをとめてください。
（10ページをご参照ください）
❷キャスターを固定します。
（7ページをご参照ください）
❸フロントガードを閉じてください。
（8ページをご参照ください）
❹幌を座面側へたたみます。
（11ページをご参照ください）
❺背もたれを、座面側へ倒します。
（7ページをご参照ください）

❻ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されます。
❼開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、後輪を支点にして前輪を後輪に引き寄せるようにすると折りたためます。
フルリクライニングさせて折りたたむときは、前輪を支点にすると楽にたためます。

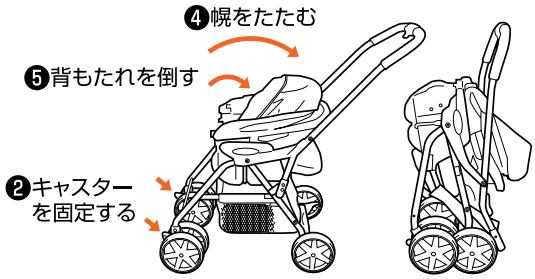




対面状態のとき

❶シートベルトのバックルをとめてください。
（10ページをご参照ください）
❷キャスターを固定します。
（7ページをご参照ください）
❸フロントガードを閉じてください。
（8ページをご参照ください）
❹幌を座面側へたたみます。
（11ページをご参照ください）
❺背もたれを、座面側へ倒すか、フルリクライニングにします。（7ページをご参照ください）

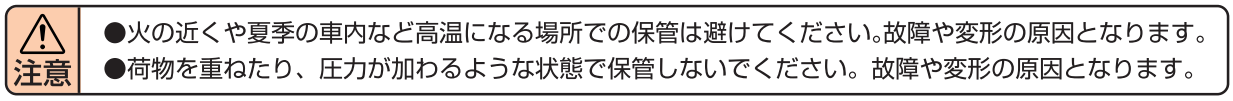
注意：背もたれを倒しこむ前に、幌をたたんでください。順序が逆ですと車のトランクなどへ収納する際、荷重で幌が変型する原因になります。



注意：対面で折りたたむとき、リクライニングの位置を一番立てたまま折りたたみますと、ハンドルを握った手にヘッドレストが当ります。
折りたたむ前に、必ずリクライニング操作をしてください。

スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルトなどがはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物をはずしてください。開閉レバーから手を離した後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか（開かない状態になっているか）をハンドルを持ち上げて確認してください。

保管のしかた


注意

●火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
●荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
●車のトランクなどに収納する場合は、背面状態で折りたたむとコンパクトになります。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シートの洗濯
洗濯機で丸洗いできますが、以下の点にご注意ください。
シートの取りはずしかたは10ページをご覧ください。
- 40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●幌、股ベルト、腰ベルト、ガードカバー、足カバー（QS-599/529）の洗濯
- ブラシやスポンジなどを使用し40℃以下の液温で、手洗いしてください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

●フラップ（QS-599）の洗濯
30℃以下の液温で、やさしく手洗いをしてください。十分にすすいだ後、乾いたタオルなどにはさみ、押しながら脱水させ、形を整えて陰干ししてください。
※製品の特性上若干色あせすることがあります。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビ　おむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために頻繁に洗濯することをおすすめします。

●衝撃吸収マットの洗濯（QS-429）
衝撃吸収マットはシートの洗濯のときなどに陰干しして乾燥させてください。
洗う必要があるときには、通常の洗濯用洗剤を使用してください。手で押し洗いをして、軽く脱水するか、乾いたタオルなどで水分をとった後、日陰で平干しをしてください。
もみ洗いや、きつく絞ったりしないでください。また、乾燥機の使用やドライクリーニングは避けてください。

エッグショックパッドについて(QS-599/529)

エッグショックパッドは衝撃を吸収するだけでなくお子さまの汗や湿気を吸収し、シートを快適な湿度に調節します。
防ダニ、防カビ、脱臭に効果があります。
梅雨時期などの湿度が高い時期には、日照時に干して乾燥させてください。吸湿能力が回復しくり返し使用できます。
注意：「エッグショックパッド」は洗濯できません。

車体の清掃について

注意

●車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

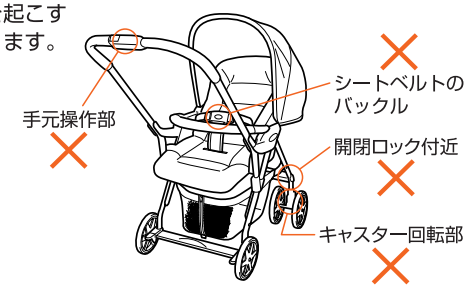
●車輪やプラスチック部品および金属の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

注油について

注意

●お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

●きしみ音が発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。注油する部分の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。
※下のイラストの部分には注油しないでください。
作動不良を起こす原因となります。



点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、背もたれ後側に貼ってあるシールをご覧になって機種名をお知らせください。
コンシューマープラザ(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271　TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
コンシューマープラザ(Customer Service Center)／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18　TEL.(06)6536-0456　FAX.(06)6536-4468
●ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
●お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

廃棄方法について

●お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
●地球環境のため、放置はしないでください。

便利なオプション品（別売り）

コンパクトレインカバー晴れるといいな（iスルーシリーズ用）

●雨のときや外出や出先での急な雨、
また、風の日などにお使いください。

足カバーQ-1型

●お子さまの足元をやさしくおおい、
あたたかく保ちます。

収納カバーTF型

●玄関や屋外に折りたたんで置くときにかけてください。

ファンファンクッション

●やさしい肌ざわりのキトポリィと、ふわふわワタで乗り心地を高めます。
※部品対応となります。

お出かけトーイ

●おでかけミニハンドル

●おでかけメリー

●おでかけミニハウス

●おもちゃを付けて、楽しくお出かけ。
お出かけ先であきさせません。

セーフティベルト

●シート上での抜け出し、立ち上がりを防ぎます。

インターネット上に育児コミュニティを開設しています
コンビの育児応援サイト・コンビタウン
http://www.combibaby.com

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ（Customer Service Center）までご連絡ください。
コンシューマープラザ（Customer Service Center）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271　TEL.（048）797-1000　FAX.（048）798-6109
コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18　TEL.（06）6536-0456　FAX.（06）6536-4468

05.3